



かつてあのナポレオンもドイツ軍も、敵軍ではなくその極寒に敗戦。そのロシアで90%に近い支持率を保つプーチン大統領。何より強いノリターシツプを望む国民性。どことなく日本人に通じる気質を感じた。

「ならずも今

回、モスクワ・ウクライナホテ

ルで、ある式に

参列した。75年

前、リトアニア

国民義の諸正



辻畑 隆子

「自分が外交官だったことや命のビザの件は一切語らず、古武士の風格で『ゲネラル(将軍)』と呼ばれ、ロシア語、ドイツ語、英語はネイティブのレベル。ピアニストのお気に入りだったベートーベンの『月光』を弾いていた。思えば、外務省を辞めさせられた後、一民間人として過ごしたモスクワでの15年間で、杉原さん

が幸せを感じた時期だったのでは？」

地元テレビ局や日本の各駐在記者に囲まれ、インタビュ

に応じる川村氏は82歳。その背中では、時代の生き証人としての使命感がにじみ出ている。

権力や時代の波にブレず、正義の判断を貫いたこのような日本人こそ記憶遺産に。ちなみに、会場に近隣国の大使はいた

が、日本の大使の顔はなかった。

(彫刻家・日出町)

のカウナスで「命のビザ」を発給、6千人のユダヤ人を救った杉原千畝を顕彰するプレートのお披露目。日英露3カ国語で「諸国民の中の正義の人」とたたえる短文が刻まれている。

1960年代この一室の貿易事務所まで部下だった川村秀氏は言う。